

みて、ふれて、知る 新技術・新工法

けんせつフェア **インフラDXが**  
未来を変える

北陸 *in* 新潟 2021

**COVID-19 感染拡大予防ガイドライン**

2021年 7月

けんせつフェア北陸in新潟2021実行委員会  
事務局

## 1. けんせつフェアの上限人数及び収容率

人数上限については、新潟市産業振興センターの収容人数が10,000人となっているため、収容人数の50%、5,000人とする。

けんせつフェアの上限人数は、開催時間中に主催者が入館者及び退館者の数を常時管理できる仕組みを導入し、逐一管理を行う。

なお、政府が緊急事態宣言を発する場合のほか、各都道府県が国の目安と異なる収容率又は上限人数を示す場合はそれに従うこととする。

## 2. 共通で行うべき対策(主に主催者、会場管理・運営者、展示会支援企業)

- ・運営スタッフ全員に対して、毎朝体温と体調の確認を行い、37.5度以上(37.5度未満の場合でも平熱・症状などを考慮し総合的に判断)の発熱がある場合や体調がすぐれない場合には会場にこないよう徹底する。
- ・運営スタッフが、新型コロナウイルス検査陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合には、自宅に待機するよう周知、要請を行う。
- ・感染疑い発生時マニュアルの作成について、関係者が協力して対策についての役割分担、責任範囲、感染疑い発生時の対応手順や担当者、管轄保健所、感染相談センターの電話番号等が記載されているマニュアルを作成し関係者共有し周知徹底する。
- ・すべての期間(搬入開始時～搬出完了時まで)において、すべての来館者が常時マスクを着用する。なお、飲食時等マスクを外す際は、対面を避け会話を控え、咳エチケットを徹底する。
- ・すべての来館者が待機列、商談、での対人距離を最低1m(できるだけ2mを目安に)確保する。
- ・すべての来館者が手洗いや手指の消毒を徹底する。
- ・すべての来館者が「接触確認アプリ(COCoA)」のインストール、LINEアプリを活用した「新潟県新型コロナウイルスお知らせシステム」の通知サービスを活用し、すべての期間(搬入開始時～搬出完了時まで)において通知サービスの稼働を推奨するとともに、関係者はBluetoothを“ON”にする等、稼働を徹底させる。
- ・屋内展示会場、講演会場等施設の換気を行う。
- ・展示会場内のブースなどの高頻度接触部位(テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネル、蛇口、手すりなど)の特定と消毒、清掃を行う。
- ・多くの人々が共用する場所、部位については、毎日の開始前及び終了後の清拭消毒や換気の徹底に加え、1回の使用毎にテーブル・椅子の背もたれや出入口ドアノブなどの高頻度接触部位の消毒、清掃を行うとともに、利用者に対しても、使用後の消毒を行うよう依頼する。
- ・休憩所、ラウンジなどにおいて、換気の徹底を行うとともに、定期的に消毒、清掃を行う。
- ・利用目的、場所の密閉度を考量し、関係者が適切な対人距離(最低1m)を確保するため、トイレ、施設或いはブース等において、整列や入場制限等を含む適切な対応を実施する。
- ・来客にお茶菓子など飲食物を提供することは原則禁止する。
- ・展示会場へ公共交通機関を利用する場合はできるだけ分散するよう努める。
- ・展示会前後の大人数での打上げや会食については感染状況などを鑑み縮小、自粛または分散しての開催を検討し、感染防止対策を講じた飲食店の分散利用を検討させる。
- ・けんせつフェアは多岐に亘る業種の会社から出展されており、本ガイドラインだけでなく、自社のガイドラインの確認と適切な対応の検討・実施を促す。

### 3. 主催者が行うべき対策

#### ① 計画時

- ・すべての期間(搬入開始時～搬出完了時まで)を通じ来館者全員にマスク着用を徹底させる。
- ・すべての期間(搬入開始時～搬出完了時まで)において運営スタッフに「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールやLINEアプリを活用した「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービス稼働を徹底させる。
- ・感染防止の観点から、来場者の来場時間の分散化や出展者や来場者が密になりにくいレイアウトプランを立案する。
- ・屋内展示会場内最低通路幅は展示会の通路幅として多くの展示会で設定されている3m以上を確保する。また、消防法を順守し、会場の使用面積、予定来場者数などの点から密にならないようなレイアウトプランの立案、また来場者が密を避けることができるよう、抜け道や退避可能な広場を設置する等の工夫を行う。
- ・出展及び来場誘致活動にあつては、特定警戒都道府県に向けた周知活動の自粛。感染した場合重症化リスクが高い高齢者や持病のある方の参加は断るなど、政府や自治体の方針や指示に従い計画し、感染状況により参加を自粛してもらうなど安全を重視したルール作り、対応の検討を行う。
- ・感染リスクのある付帯イベント(開会式等)は感染状況を見ながら必要に応じた人数制限や自粛を行う。
- ・受付等待機列が予想される場所における間隔目印は床面に最低1m毎に目印等を設置する。
- ・受付・インフォメーション等の飛沫感染防止・接触感染防止施工についてアクリル板などの設置またはそれに準ずる感染防止策を実施する。
- ・屋内展示会場の食事(ドリンクは可)は原則禁止とする。
- ・けんせつフェアの公式ホームページなどに本ガイドラインを遵守し開催する旨公表する。

#### ② 準備時(出展・来場誘致時)

- ・マスクを紛失、持参しない出展者や来場者等来館者に配布する分の予備マスクを準備する。
- ・出展マニュアルにブースで飛沫感染や接触感染が起こらないよう、説明員のマスク着用、「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスのインストール、稼働を徹底するほか、人と人との距離を確保できない場合などで必要な場合は商談テーブルなどにアクリル板やビニールカーテンなどの感染防止策を取る旨を記載する。
- ・けんせつフェア案内にて来場対象向けに展示会来場の際にはマスク着用義務や検温がある旨を告知する。
- ・事前登録時に個人情報登録が必要であること、入館時の検温とマスク着用、「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を推奨し、感染者発生時には感染経路特定等の理由により最低限必要となる個人情報を政府機関・自治体の要請により開示することがある旨明示する。
- ・来場者にはWEBでの来場事前登録を活用し、予定来場者数を事前に把握する。
- ・感染疑い者発生時マニュアルの作成について、運営スタッフと協力し対策についての役割分担、責任範囲、感染疑い発生時の対応手順や担当者、管轄保健所、感染相談センターの電話番号等が記載されているマニュアルを作成し関係者に共有し周知徹底する。
- ・会場でサーモグラフィー等の機器を準備し来館者を入館時に検温を行う。
- ・会場入口に消毒液を設置し来館者に手指の消毒を義務付ける。
- ・出展者に大声での商談、実演、ブースへの来場者呼び込みを行わないよう徹底する。

- ・展示会場へ公共交通機関を利用する場合はできるだけ分散しての出勤、退勤をするよう関係者、出展者、来場者へ注意喚起を行う。
- ・出展者にけんせつフェア前後の大人数での打上げや会食については感染状況などを鑑み縮小・自粛を検討させる。

### ③ 搬入時

- ・マスク着用チェック：自社・施工関係・運送会社など全来館者のマスク着用を目視確認し、未着用者への着用依頼を行う。
- ・マスクを紛失したり忘れた者にはマスクを配布する。
- ・自社及び外注先、運営スタッフに「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・展示ホール内空気循環のため搬入出口の常時開放を徹底する。
- ・施工中の密防止、手指消毒、手洗いの励行等について、必要に応じ館内アナウンスを繰り返し実施する。
- ・来館者向けに館内共用部へのサイン設置（マスク着用、手洗い・手指消毒の励行、「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービス稼働）を行う。
- ・会場入口にアルコール消毒液を設置し施工者に手洗いと手指の消毒を励行させる。

### ④ 会期中

- ・来場受付待機列管理として床面にシール等を貼付し、待機列で人がスペース（最低 1m）を目をあけて並ぶように工夫する。退出時においても待機列が出来る可能性がある場合は同様の対応を行う。
- ・全来場者の登録情報(個人情報)を取得し感染発生時に備える。
- ・出展者、来場者、運営スタッフにマスク着用・手洗い励行、「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働などのサイン表示を入口付近に設置する。
- ・会場入口にアルコール消毒液を設置し来館者に入館時の手指消毒の徹底及びホール内滞在中の頻繁な手洗いと手指消毒を励行させる。また、定期的な見回りによる残量確認と補充及びテーブル・椅子などの清拭消毒を行う。
- ・入館者全員に対しマスク着用の目視確認と未着用者にマスク着用依頼を実施し、持参していない場合はマスクを配布する。
- ・サーモグラフィー、非接触型体温計等の機器により来館者に対する検温を実施する。
- ・入館時の検温で 37.5 度以上（37.5 度未満の場合でも平熱・症状などを考慮し総合的に判断）の発熱があることが分かった場合、息苦しさ（呼吸困難）・強いだるさや、軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合、新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航並びに当該在住者との濃厚接触がある場合などで来場者の入館を断る際には、感染疑い時対応マニュアルに記載した手順にて対応し、感染相談センターの電話番号や管轄保健所連絡先を記載した書面を渡すなど対応を行う。
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いにも十分注意しながら、来場者の名簿を適正に管理する。なお、来場者を含む関係者の名簿はできるだけ長く（最低 3 週間）保管する。
- ・展示ホール内空気循環のため、運営・安全面での支障がない範囲で搬入出口シャッターを 50cm 程度開放する。
- ・来場者の事前登録促進等により会場受付での受付時手作業の削減を行う。

- ・来館者数を常時確認し滞在者が4,000人となった場合入館制限を実施する。
- ・密注意、手指消毒、手洗い励行のアナウンスを繰り返し行い注意喚起する。
- ・展示ホール内での食事（ドリンクは可）は原則禁止とする。
- ・来場者へのお茶菓子など飲食物を提供することは禁止させる。
- ・出展者・来場者に大声での商談、実演、ブースへの来場者呼び込みを行わないよう放送などにて注意喚起すると共に巡回するスタッフを配置し、大声を出している出展者や来場者には直接注意を行う。

#### ⑤ 搬出時

- ・閉館時間になったら速やかに来場者を退館させ搬出を開始させる。
- ・搬出時でもマスクを着用するようアナウンスし館内モニターを継続する。
- ・マスクを紛失したり忘れた者にはマスクを配布する。
- ・搬出時も展示ホール入口などに消毒液を設置し手洗いと手指の消毒を励行させる。

#### ⑥ セミナー・シンポジウム・式典等

- ・登壇者・司会者の演台に飛沫防止のシールドを設置する。また登壇者と聴講最前列の距離は飛沫到達距離である 2m空けるとともに、登壇者もマスクをした上で講演することを依頼する。
- ・聴講者間距離は、規模、利用目的、場所の密閉度を考量し適切な身体的距離を保つよう努める。
- ・講演会は、オープンスペースでの実施とし、密閉防止策と換気を行う。
- ・登壇者や質問者・発言者が使用するマイクや共用するパソコンやポインター等の備品は毎回消毒を行うよう徹底する。
- ・講演前に、聴講者に対して「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスを機能させるため、電源を“ON”、Bluetooth“ON”にしたままマナーモードにするよう依頼する。

## 4. 企業が行うべき対策

### (1) 支援企業が共通で行うべき対策

- ・全ての期間（搬入開始時～搬出完了時まで）において自社及び外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・けんせつフェア会場内では全員マスクを着用する。
- ・自社及び外注先スタッフのマスク等の手配(予備を確保)
- ・自社及び外注先の来館予定者管理として、名簿お作成と施工日・担当エリア・実際の勤務時間等できるかぎり詳細に管理する。
- ・万が一感染が発生した場合に備え、個人情報取扱いにも十分注意しながら、搬入出時・会期中に来館した関係スタッフの名簿を適正に管理する。なお、関係スタッフ等の名簿はできるだけ長く保管する。(最低 3週間)
- ・自社及び外注先スタッフが控室や休憩所等での休憩をする際にもマスクを着用することを推奨する。

### (2) ブース施工・備品レンタル・電気配線など展示装飾関連施工会社が行うべき対策

- ・出展者ブース等で商談スペースを設置する際に飛散防止用のシート等の遮蔽物を設置する場合は火気使用設備・器具、白熱電球等の熱源の近くには原則設置することは避ける。
- ・感染予防対策上必要な場合には、燃えにくい素材(難燃性、不燃性、防災製品など)を使用するよう徹底する。

- ・ 施工関係者用ストックなど共用スペースを設置する場合はそれらの手が触れるドア・ドアノブ・棚などについて使用期間中の消毒と清掃を行う。
- ・ 共有する工具・台車などについて消毒・清掃を行う。
- ・ 顧客(主催者・出展者)が発注した設備・備品などについて、納品時に消毒を行う。
- ・ 閉幕直後に出品者の搬出時間帯が設置されている場合は出品者の搬出が終わるまではブース撤去を担当する者は入館しない。

### (3) 清掃会社が行うべき対策

- ・ 清掃スタッフはマスク等の着用を徹底する。
- ・ 手袋を着用する場合には適切に交換を実施する。
- ・ マスクや手袋を脱いたら石鹸と流水での手洗いまたは消毒液による手指消毒を行う。
- ・ マスクなどウイルスが付着した可能性のあるものが捨てられている場合、ゴミの回収は清掃トングの使用を徹底(使用した清掃用トングの消毒も徹底)し、プラスチック製袋などに入れた上で必ず密閉し廃棄する。

## 5. 出展者に促すべき対策

### ① 計画時

- ・ 顧客を招待する際に会場での検温があること、マスク着用が必須であることなど注意事項を事前に周知する。
- ・ 全ての期間(搬入開始時～搬出完了時まで)において出展者及び搬入等外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。

### ② 出展準備時

- ・ 出展者及び搬入等外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・ 商談エリアで来場者と対面となるレイアウトの場合には、双方のマスク着用を徹底しつつ、必要に応じて飛沫感染防止のため飛散防止シート等の遮蔽物を設置する。その際は装飾依頼会社と相談し、火気使用設備・器具、白熱電球等の熱源の近くには原則設置することは避ける。感染予防対策上必要な場合は、燃えにくい素材(難燃性、不燃性、防災製品など)を使用することを徹底する。
- ・ ブースに説明員等で参加する自社スタッフ及び外注先スタッフの日別名簿を作成し、最低 3週間保存する。万一感染が発生した場合は保健所など関係機関に提出できるよう準備する。
- ・ 自社ブースで使用するマスクや消毒液を用意する。
- ・ 説明員として参加するスタッフの業務に必要な防護具(マスク、フェイスシールド等)を検討する。
- ・ 商品パンフレットや会社案内などの資料はデジタル化などの検討を行う。
- ・ 出展品等の接触感染防止のため、出展製品等の頻繁な消毒または来場者が展示物に触れにくいような工夫をする。

### ③ 搬入時及び搬出時

- ・ マスク着用と頻繁な手洗い、手指消毒をするよう徹底する。
- ・ 自社及び外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCoA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・ 自社ブース搬入開始前には特にドアノブや棚・テーブル・椅子の背もたれなどを清拭消毒する。

- ・ 自社ブースで出た普通ゴミは極力持ち帰るよう手配する。
- ・ マスク、フェイスシールド、手袋、紙コップなどウイルスが付着している可能性があるゴミは、プラスチック製袋などに入れた上で必ず持ち帰る。
- ・ 自社ブース搬入完了時にブース内の共有物品や人の手が触れるものを清拭消毒する。

#### ④ 会期中

- ・ 自社及び外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・ スタッフ全員のマスク着用の徹底と、商談や説明、実演時なども含め大声で会話や呼び込みを控える。
- ・ 自社ブースに説明等で参加した自社スタッフ及び外注先の日別名簿を作成する。
- ・ 展示会場での商談は、極力事前に日時調整し後日 WEB 会議などオンラインも活用するなど現地での商談が必要以上に長引かないよう工夫し、名刺交換も可能であれば電子的に実施する。
- ・ 自社ブース内の高頻度接触部位(出展製品、テーブル、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチ、電話、キーボード、タブレット、タッチパネルなど)を、各社にて責任をもって毎日複数回清拭消毒する。
- ・ 頻繁に使用するテーブル・椅子や製品などは商談毎に消毒する。
- ・ 自社ブースの来客状況によりデモンストレーションや商談時間を柔軟に調整し、密な状況を作りにくくさないよう可能な限り配慮する。
- ・ 商談ブース利用の日別の名簿を作成し管理する。
- ・ 商談時等でブースへの来客にお茶菓子など飲食物を提供することは原則禁止とする。
- ・ 外出や商談後にスタッフの手指の消毒を徹底する。

## 6. 来場者に促すべき対策

- ・ 自社及び外注先スタッフに「接触確認アプリ(COCOA)」のインストールや「新潟県新型コロナお知らせシステム」の通知サービスの稼働を徹底させる。
- ・ 展示会場での商談は、極力事前に日時調整し後日WEB 会議などオンラインも活用するなど現地での商談が必要以上に長引かないよう工夫し、名刺交換も可能であれば電子的に実施する。
- ・ 当日の検温と体調の確認をし、発熱や体調不良があれば来場を自粛する。
- ・ 会場ではマスクの着用と頻繁な手洗い・消毒を実施するとともに、密になり得る状況での長時間の商談は避ける。
- ・ 出展製品などに触れた場合はこまめに手指を消毒する。
- ・ 商談時に大声で話すことは避け、出展者とも最低 1m確保するよう努める。
- ・ 商談や訪問したブースについては可能な限り日時・相手先担当者等について記録しておく。

## 7. おわりに

上記感染防止策を行うとともに、新型コロナウイルスにおける新しい生活様式に合った「けんせつフェア北陸in新潟」を開催するため、関係者一丸となって、これまでにない取組を進める等の創意工夫を図りつつ、感染拡大防止と出展各社の発展に努める。